

(1) 日時および場所 2025 年 9 月 15 日 15:30～17:00

東京農業大学農学部トリニティーホール（対面で実施）

(2) 代議員の現在数 31 名

(3) 出席した代議員の数および出席者氏名（*評決委任者を含む） 31 名

徳田 誠、吉富 博之*、大原 昌宏*、東城 幸治、松村 洋子*、井手 竜也、紙谷 聡志、
上田 昇平、中村 剛之、市岡 孝朗、石川 忠、坂巻 祥孝、杉浦 真治*、大庭 伸也、
岸本 圭子、神保 宇嗣、渡辺 恭平、松本 吏樹郎、高須賀 圭三、山田 量崇、小野 正人、
金尾 太輔、久保田 耕平、舘 卓司、竹松 葉子*、深津 武馬*、平井 規央、後藤 慎介、
末吉 昌宏、江口 克之、吉田 貴大

(4) 総会に出席した役員の氏名

理事 野村 周平、後藤 慎介、石川 忠、井手 竜也、舘 卓司、高須賀 圭三、東城 幸治、
江口 克之

監事 広渡 俊哉、市岡 孝朗

(5) 総会議長の氏名

野村 周平 会長

(6) 決議事項及び報告事項

報告事項（カッコ内は報告者）

1. 庶務幹事報告（庶務幹事 石川 忠）
2. 渉外・事務幹事報告（渉外・事務幹事 井手 竜也）
3. 図書幹事報告（図書幹事 神保 宇嗣）
4. 編集委員会報告（委員長 東城 幸治・副委員長 江口 克之）
5. 自然保護委員会報告（委員長 吉富 博之，代読 石川 忠）
6. 日本の昆虫編集委員会報告（委員長 山田 量崇）
7. 電子化推進委員会報告（委員長 上田 昇平）
8. 大会支援委員会報告（委員長 東城 幸治）
9. 日本昆虫目録委員会報告（委員長 三枝 豊平，代読 中村 剛之）
10. 将来問題検討委員会報告（委員長 徳田 誠）
11. 男女共同参画推進委員会報告（委員長 中尾 史郎）
12. 選挙管理委員会報告（委員長 後藤 慎介）
13. 自然史学会連合に関する報告（連合昆虫学会代表 矢後 勝也）
14. 日本分類学会連合に関する報告（連合昆虫学会代表 野村 周平・井手 竜也）
15. 日本昆虫科学連合に関する報告（連合昆虫学会代表 阿部 芳久・吉村 真由美）
16. 2026 年度大会の日程と開催地（大会役員（予定）岸本 圭子）
17. その他

協議事項

1. 韓国昆虫学会・台湾昆虫学会との合同シンポジウムの開催
2. 2024 年度決算、会計監査
3. 2025 年度予算
4. 任期満了に伴う理事、委員長の選任（投票）
5. 日本応用動物昆虫学会との合同大会
6. その他

（7）議事の経過の概要及びその結果

報告事項

・庶務幹事報告：会員数が減少していること、新たに代表理事、副代表理事、庶務担当理事、会計担当理事、大会理事、監事、自然保護委員長、日本の昆虫編集委員長、将来問題検討委員長、電子化推進委員長、男女共同参画推進委員長が承認されたことを報告した。学会賞に Matoba ら(ENS 12570)および Arimoto ら(ENS 12583)が選ばれ、若手奨励賞に渡部 晃平 氏（ゲンゴロウ科およびその他の水生・半水生昆虫を中心とした分類学・生態学および保全生物学的研究）が選ばれ、あきつ賞には推薦対象がなかったことを報告した。

・渉外・事務幹事報告：とくだんの報告はなし。

・図書幹事報告：執行部の交代に伴う J-STAGE のアカウント等の引き継ぎ、および JST による「即時オープンアクセス方針への対応説明会」に参加したことを報告した。

・編集委員会報告：2024 年に受領した原稿数（86）は、4 年連続してそれ以前の原稿数からの減少傾向が続いている。採択率は 25.9%。2025 年の採択率は現段階で 19.4%。前々年と同様のペースだが、前年に比べて若干速いペースでの論文投稿が続いている。

「昆虫（ニューシリーズ）」誌編集報告：27 巻 4 号から 28 巻 3 号までの受領論文数（総説、原著、短報、新記録ノート）は 45 編。内、受理 29 編、却下 6 編、取り下げ 0 編、28 巻 4 号以降への持ち越し 10 編。

・自然保護委員会報告：2025 年大会の自然保護シンポジウム「小笠原昆虫研究への招待—自然史研究と保全のフロンティア」を企画・開催。

・日本の昆虫編集委員会報告：Vol. 9 以降、原稿の投稿がなく、本企画は停滞。今後 1 年間で原稿募集の方法および出版にかかる課題を検討するとともに、企画そのものの見直しを進める。

・電子化推進委員会報告：「写真ギャラリー」の新たな活用方法、学会・大会のウェブサイトの更新、ドメインの更新、あきつ賞へ応募について分析を行った。

・大会支援委員会報告：口頭発表・ポスター発表のプログラム編成を担当した。

・日本昆虫目録委員会報告：第 6 巻のハムシ、カミキリ類の部の編集はかなり進行して、権歌書房に本年中には原稿を送れる段階にきている。第 6 巻鞘翅目と第 7 巻鱗翅目の作業が著しく遅滞。

・将来問題検討委員会報告：とくだんの報告はなし。

・男女共同参画推進委員会報告：第 22 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム「女子中高生の進路

選択」へ参加。第 23 期男女共同参画学協会連絡会定期総会・運営委員会に出席。委員会を開催。

- ・選挙管理委員会報告：理事会の議決により、一般社団法人日本昆虫学会 会長候補者意向投票および代議員選挙細則が変更された。理事会において選挙管理委員が選任された。
- ・自然史学会連合に関する報告：総会が 2025 年 6 月 15 日にオンラインで開催された。
- ・日本分類学会連合に関する報告：第 24 回総会は 2025 年 1 月 11 日にオンラインで開催された。一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会の賛助会員となることが承認された。
- ・日本昆虫科学連合に関する報告：2024 年 8 月 25-30 日、第 27 回国際昆虫学会議 ICE2024 Kyoto が日本昆虫科学連合と日本学術会議により共同主催された。2025 年 6 月 28 日、オンラインで総会が開催された。2025 年 6 月 28 日にオンラインで日本学術会議・日本昆虫科学連合共同主催の公開シンポジウム「昆虫科学はおもしろい」が開催された。
- ・2026 年度大会の日程と開催地：2026 年 9 月 12-14 日、龍谷大学（瀬田キャンパス）を予定。
- ・その他：とくになし。

決議事項

- ・韓国昆虫学会・台湾昆虫学会との合同シンポジウムの開催：経緯と開催意向の説明がされ、意見が出された。
- ・2024 年度決算、会計監査：原案の通り全会一致で可決された。
- ・2025 年度予算：原案の通り全会一致で可決された。
- ・理事、委員長の選任：無記名投票により、以下の理事、委員長の全員が選任された。（投票数：25 名）

理事

小西 和彦	北海道大学（編集理事予定）
岸本 圭子	龍谷大学（編集理事予定）
岸本 圭子	龍谷大学（大会理事予定）

委員会委員長

高須賀 圭三	九州大学（大会支援委員会委員長）
--------	------------------

以上、上記決議を明確にするため本議事録を作成し、議長（議事録作成者）および議事録署名人が次に署名押印する。

会長

代議員

代議員